

事業報告書

第14期

自 2016年 9月 1日
至 2017年 8月 31日

特定非営利活動法人 劇研

目次

特定非営利活動に係る事業

劇場運営事業	・・・・・ 1
創造事業	・・・・・ 2
人材育成事業	・・・・・ 3
文化・芸術活動支援事業	・・・・・ 5
文化・芸術を教育や児童青少年に活用する事業	・・・ 5
文化・芸術による地域のまちづくり事業	・・・・・ 6

その他の事業

自動販売機による飲料販売事業	・・・・・ 7
----------------	---------

特定非営利活動に係る事業

劇場運営事業	支出額 10,820,615 円
--------	------------------

1. 事業概要

劇場「アトリエ劇研」を閉館する8月末まで管理・運営し、演劇・ダンス等実演芸術の専門劇場として、主に現代演劇、現代ダンスの公演会場として、一般に貸し出すのみならず、劇場を拠点に、舞台芸術家の育成・活動支援ならびに舞台芸術の普及に関わる事業を実施。活動内容は、舞台芸術の専門家であり、芸術家としても実績を有する「アトリエ劇研ディレクター」が決定する。

2. 活動実績

- ・ アトリエ劇研の稼働実績／年間稼働日数 360 日、稼働率 98.6%、年間公演 58 本、観客動員数 11703 名
- ・ 年間を通じて観劇できる支援会員制度を、こまばアゴラ劇場（東京）津あけぼの座（三重）シアターねこ（愛媛）と連携し実施。

■ 劇団等の支援実績

支援対象の公演には「アソシエイトアーティスト」「創造サポートカンパニー」「共催」「提携」という冠をつけ、劇場費の減免、宣伝・広報、制作補助等のサポートを実施。

主催 10 公演 観客動員数 1818 名

劇研アクターズラボ+村川拓也・劇研アクターズラボ+あごうさとし・シニア劇団星組、空いろ、銀宴・あごうさとし・「世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム発表公演」ユバチ・劇研なつまつり

共催 2 公演 観客動員数 300 名

RoMT・安住の地

アソシエイトアーティスト共催 18 公演 観客動員数 3682 名

遊劇体（2公演）・正直者の会（2公演）・KIKIKIKIKIKI（2公演）・鳥公園（2公演）・サファリ・P（2公演）・山下残（2公演）・鳥丸ストロークロック・エイチエムピー・シアターカンパニー・村川拓也・岩渕貞太・東京デスロック・木ノ下歌舞伎・

創造サポートカンパニー共催 12 公演 観客動員数 3729 名

Hauptbahnhof（2公演）・劇団しようよ（2公演）・努力クラブ・250km 圏内・ブルーエゴナク（2公演）・ドキドキぼーいす・笑の内閣（2公演）・居留守

提携 12 公演 観客動員数 1817 名

劇団飛び道具・N²・akakiliike（2公演）・正直者の会.lab・うさぎストライプ・木村悠介演出作品・デュ社・劇研のど自慢・京都役者落語会・日置あつし・てんこもり堂

一般 4 公演 観客動員数 357 名

かんから館（2公演）・ナントカ世代・柳川

■ 舞台設営に使用する消耗品の販売（テープ、照明カラーフィルター、たばねゴム）

■ 宣伝・広報活動

- ① ホームページの運営、Facebook、ツイッターの配信
- ② メールマガジン 月 2 回配信
- ③ 支援会員メールニュース 月 2 回配信
- ④ 劇場間バーターによるチラシ折り込みの発送

1. 事業内容

シニア世代の表現活動促進事業として舞台芸術作品の制作や企画を行った。

2. 活動実績

- ・ 50才以上とするシニア世代のクラスの運営を継続。(劇研シニア劇団／高槻シニア劇団)

■ 劇研シニア劇団 3 クラスの企画運営 (主な活動場所 アトリエ劇研)

シニア劇団「銀宴」 練習毎週水曜 (指導・演出：田辺剛)

公演：2017年7月 第3回公演『裸足の教室、こだま降る廊下』脚本・演出：田辺剛

会場：アトリエ劇研 観客動員数：212名



シニア劇団「星組」 練習毎週月曜 (指導・演出：細見佳代)

公演：2017年3月 第8回公演『12人の鏡の女たち』構成・演出：細見佳代

会場：アトリエ劇研 観客動員数：280名

シニア劇団「空いろ」 毎週金曜日 (指導・演出：細見佳代)

公演：2016年9月旗揚げ公演 『平均年齢60歳の Re Birthday』構成・演出：細見佳代

会場：アトリエ劇研 観客動員数：235名

■ 高槻シニア劇団 3 クラスの企画運営 (主な活動場所 高槻現代劇場)

高槻シニア劇団「恍惚一座」 練習毎週火曜 (指導・演出：山口茜)

公演：2017年9月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

恍惚一座 第4回公演 「ハウスホールド」脚本・演出＝山口茜

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数：217名

2017年6月 全国シニア演劇大会in福岡 参加



高槻シニア劇団「そよ風ペダル」 練習毎週火曜 (指導・演出：筒井潤)

公演：2016年11月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

そよ風ペダル 第4回公演 「ほとぼり」

構成・演出・振付：筒井潤

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数219名

高槻シニア劇団「wakuwaku」 毎週木曜日 (指導・演出：高杉征司)

公演：2016年10月高槻de演劇秋のプログラム (高槻現代劇場主催)

wakuwaku 旗揚げ公演 「そっとふれてみる」

脚本・演出：高杉征司

会場：高槻現代劇場305号室 観客動員数212名

■ 活動総括（事業担当:杉山）

今年度は予算等の都合から、作品創作は見送ったものの 6 チームが活動するシニア劇団は、恍惚一座が九州公演と高槻での凱旋公演を行うなど活発な活動を行うことができた。

■ 活動総括（シニア事業担当:梶川）

まずは京都と高槻でそれぞれ新たに設立した「空いろ」「WakuWaku」の初公演が無事に終わり、公演後にメンバーの入れ替わりはあったものの継続して活動できている。これによりシニア劇団が 6 劇団となり、今後も劇団数を増やし活発な活動としていきたい。

全国シニア演劇大会 in 福岡に参加した。大会側の不手際からさまざまなトラブルに巻き込まれ悔いが残った。

「銀宴」公演では高校生役の募集をおこない、シニア世代と若者世代が作品創作を通して交流しながら本番を迎えるぞの世代に対して刺激がありよかったです。

劇団ごとの特色が色濃く出始めていて興味深い。シニア劇団のメンバーは未経験から演技にかかわり始めことが多い。その上でどのような指導や運営がより良いチーム作り、作品創作につながっていくのかを明確にしていく時期に来ているように思う。

課題として、公演に来場される観客は劇団メンバーの知り合いがほとんどであり、シニア事業の認知は低いままである。どれだけ質の高い作品を創作しても見てもらわなければ意味がない。今後、劇団メンバーとは関係ない純粋な観客を創出すること、そのために作品を客観的に評価される機会をつくること、シニア世代だけではない他世代に対しての宣伝にも力をいれていきたい。

人材育成事業	支出額 4,939,614 円
--------	-----------------

1. 事業概要

舞台芸術に関わる人材育成を目的に、各種のプログラムを実施した。

2. 活動実績

- ・ 演劇初心者、アマチュアの演劇爱好者を対象にした公演クラスの継続(京都 2 クラス／高槻 1 クラス)
- ・ 若手の才能、技術や意識の向上と活躍機会の拡大を目指すスキルアップクラスの実施

■ 劇研アクターズラボ・公演クラス 京都 (主な活動場所 アトリエ劇研／京都)

演劇初心者、アマチュアの演劇爱好者を対象にした演劇クラス。1 年間の練習を経て公演を実施する。

「劇研アクターズラボ+あごうさとし」クラス<指導：あごうさとし（劇作家・演出家）>

毎週水曜実施 受講者 9 名 2017 年 5 月をもって終了。

第 3 回公演 2017 年 5 月『王をつくる』上演

会場：アトリエ劇研／観客数 144 名



「劇研アクターズラボ+このしたやみ」クラス<指導：山口浩章（演出家）他>

2017 年 6 月開講 毎週水曜実施 受講者 10 名

2018年5月に第1回公演を予定。

■ 劇研アクターズラボ・公演クラス高槻（主な活動場所 高槻現代劇場<大阪府高槻市>）

「劇研アクターズラボ+夕暮れ社弱男ユニット」<指導：村上慎太郎（劇作家・演出家）>

チーム名「水曜の家族」毎週水曜日開講 受講者 12名

第2回公演：2016年11月『リリック・ソング・フォーユー』上演 観客数 204名

会場：高槻現代劇場 305号室

高槻 de 演劇秋のプログラム(高槻現代劇場主催)



■ アクターズラボ・スキルアップクラス

『世界に視野を開く地域の演劇リーダー育成プログラム 2016-2017』（文化庁委託事業）

海外から一流の講師陣を招き、オーディションで選ばれた俳優に密度の高いトレーニングを実施するとともに、デバイジングと呼ばれる俳優自らが創作者となって作品を創作する手法で作品を作り上演した。

チーム名「ユバチ」受講者 7名 第2回公演『点と線』2017年2月

会場：アトリエ劇研／観客数 70名



■ 活動総括（事業担当:杉山準）

演劇の裾野拡大と技術向上を目的に京都と高槻で実施している公演クラスは講座運営も安定し、定着して来ている。3年目を終えたあごうさとしさんによるクラスは最終公演を終え終了し、新たに「このしたやみ」という劇団による新たなクラスを京都で開講した。高槻では2年目を迎えた村上慎太郎さんが指導するクラスが、2回目の公演を非常にいい形で終え、全メンバーが3年目も継続するという盛り上がりをみせ理想的な運びで3年目の練習に励んでいる。

スキルアップクラスは文化庁の委託事業の2年目の公演を終え、3年目の募集・選考を実施し7名が3年目のプログラムに励んでいる。メンバーを選抜して継続的かつ集中的なトレーニングを行うことで、演技スキル及び意識は格段に向上させることができた。次年度以降はメンバーを全て入れ替え、新たなメンバーを対象にして継続するとともに、「卒業」するメンバーの活動支援を実施する。

1. 事業概要

舞台スタッフやプロデュースなど専門家の派遣や演劇プログラムの企画・実施等を請け負う。

2. 活動実績

- 京都造形芸術大学舞台芸術学科への「アドバイザリースタッフ」派遣 年間複数回実施。

- 近畿大学文芸学部芸術学科舞台芸術専攻への高所作業指導員の派遣。年間複数回実施。

- 公益財団法人高槻市文化振興事業団が行う、高槻現代劇場の演劇プログラムの受託。

- 全国学生演劇祭の事務局業務受託

- 公益財団法人高槻市文化振興事業団の委託を受けて、『高槻 de 演劇』と題する高槻現代劇場（高槻市）の主催事業を実施した。

『高槻 de 演劇秋のプログラム』2016年10月11月会場：高槻現代劇場 305号室

ラボ+タ暮れ社弱男ユニット『リリック・ソング・フォー・ユー』 公演

高槻シニア劇団 wakuwaku 旗揚げ公演「そとつぶれてみる」 そよ風ペダル 第4回公演「ほとばり」

『発掘！新鋭若手劇団コレクション』2017年3月11日、12日会場：高槻現代劇場 305号室

参加団体『短冊ストライプ』『劇団有馬9丁目』『ヒトヒト』『MEHM』 公募審査の上選ばれた、4団体の若手劇団による持ち時間20分の短編上演会。審査員：山口茜、高杉征司、筒井潤、高槻現代劇場専務理事

観客投票と審査員による審査の結果『MEHM』が翌年の『高槻 de 演劇』に参加決定。

1. 事業概要

舞台芸術の表現の魅力を伝えるとともに、その表現や演技の力を社会に活かす活動を実施する。

2. 活動実績

- 子ども達を対象とした夏の事業「劇研なつまつり 2017」を開催。

- 演劇の手法を用いて学校での授業を実施。

- 劇研なつまつり 2017 『かむじゅうのぼうけんパーティー』

2017年8月11日、12日、13日 参加者200名

（対象者4歳～小学生とその保護者）

毎年恒例となった演劇と創造を楽しむ子供向け無料イベントを今年は3日開催。怪獣“かむじゅう”と踊ったり工作したりしながら子供達とお話しの世界で遊ぶことで、演劇と触れ合い、表現力の魅力を伝えた。

- 高槻市立第八中学校で授業を実施。2017年6月23日及び29日

- 高槻市立如是中学校で授業を実施。2017年7月3日

高槻市文化振興事業団の依頼を受けて、高槻市立第八中学校及び如是中学校で総合の時間を使って中学3年生全員に演劇の授業を行った。第八中学校では5クラスを2クラスと3クラスずつに分けてそれぞれ5、6時間目の授業を1日ずつ、2日間にわたり実施。如是中学校では3クラス合同で同じく5、6時間目を使って1日で実施。今年度もアシスタントとして、ラボに参加しているメンバーを加えておこなった。



1. 事業概要

文化・芸術を活用した手法を用いて地域のまちづくり、地域振興に資する事業を実施する。

2. 活動実績

- ・京都市左京西部いきいき市民活動センターおよび左京東部いきいき市民活動センターの管理・運営および高齢者ふれあいサロンの管理運営と地域活性化に関わる事業の実施。建物の維持管理を行うとともに、会議室を、文化事業を始めとする市民活動に貸し出し、高い稼働率で運営を行った。
- ・高齢者福祉やまちづくりに資する以下の「市民活動活性化事業」を京都市の委託事業として実施した。

<左京西部>

・地域住民及び多世代交流促進事業『夕涼み音楽会と盆踊り』

養正保育所と連携して、音楽や踊りを通じて子どもたちからお年寄りまで異世代が交流する場を作った。地域のお祭りを復活させる機運が近隣住民の間に高まる 것을期待した。

開催日時 2016年9月2日 17時～18時 参加者 169名

・高齢者との交流プロジェクト『モノが語る 私の昭和20年展』

回想法を利用して高齢者に聞き取りを行い、聞き手がお話を文章にまとめ、聞き手の感想と写真と合わせてパネル展示した。その内容は冊子の形にもまとめて展示会場で配布した。

2016年12月16日：聞き取り研修

12月24日～2017年1月14日：聞き取りと写真撮影

1月下旬～2月中旬：文字起こし作業と展示文章の推敲

2月中旬～3月上旬：語り手への文章の確認と展示物作成

3月11日～3月19日：展示会

語り手・聞き手参加 17名 展示会来館者 のべ 459名

・地域住民及び多世代交流促進事業 2017『ようせい夏まつり』

近隣住民や地域内外の各種団体、学校などと連携し、夏まつりを開催した。多数の来場者に恵まれ、次年度の開催を望む声も聞かれた。世代間交流や地域内外の人的交流が促進され、地域自治活動が活発化した。

開催日時 2017年8月19日 17時～21時

参加人数延べ約 700人

<左京東部>

・京都おさんぽコレクション『思い出のまちめぐり 錦林一醍醐』



異世代間の交流促進及び、まちを知り、まちの変化に思いをめぐらすこと、センター同士の理解や連携の促進を目的に、左京東部いきいき市民活動センターから醍醐いきいき市民活動センターまでを歩く、ウォーキング事業を実施した。「思い出のまちめぐり」と題して、高齢者との交流プロジェクトと連携し、コースの途中で「場所」にまつわる思い出をご本人に語っていただいた。

2016年8月～9月：ウォーキングへの参加者募集

10月15日10:30～15:30 ウォーキング

参加人数 15人

・高齢者との交流プロジェクト『まちの思い出展示会』東部いきいき市民活動センター版

まちや場所をテーマに回想法を利用した聴き取りを行い、語り手とともにお話を場所を訪ねた。そこで撮影し



た写真とエピソードをパネル展示した他、それらをまとめた地図を作成し、展示会場で配付した。

2016年6月～8月：思い出の聴き取りと写真撮影

9月：展示パネルと地図の作成

10月15日：おさんぽコレクションにて思い出語り

10月15日～10月30日：醍醐いきいき市民活動センターでの展示会

11月5日～11月20日：左京東部いきいき市民活動センターでの展示会

聴き取り参加 8名 展示会来館者約957名

・近隣地域との交流促進事業『復活！錦林盆踊り大会2017』



一昨年、昨年と取り組んできたお祭りを今年度も引き続き実施した。盆踊りの復活を目玉に据えて、老若男女、他地域、他国籍いろいろな人が集えるお祭りを開催。

開催日時 2017年7月30日 17時～21時

参加人数延べ約700人

その他の事業

自動販売機による飲料販売事業	支出額 66,507円
----------------	-------------

劇場アトリエ劇研に自動販売機一台を設置。支出額は電気代のみ。2017年9月4日まで設置